

令和7年度 帯広市立広陽小学校 グランドデザイン



西陵中エリアで目指す「実現する姿」

「人とつながり、きらめく子ども」～自ら考え、判断し行動できる
広陽小学校教育目標

- ・ねばり強い子ども
- ・考える子ども
- ・たすけあう子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・たくましい子ども

令和7年度 重点目標

すべての子どもたち一人一人が、もっている可能性を
最大限に発揮できる広陽小学校

育みたい資質・能力①

自律する子ども

- ・自らやりたいこと・やるべきことを考え、行動を起こすことができる

育みたい資質・能力②

尊重できる子ども

- ・違いを理解し、他者を尊重できる
- ・相手を意識し、自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる

育みたい資質・能力③

創造する子ども

- ・豊かな発想をもち、創意工夫し、新しいものを生み出すことができる

重点目標に迫る教師の力点

確かな学力

- ①進んで自分の思いや考えを伝えられる子～粘り強く、主体的に取り組める授業をつくる～
 - ・個々のアウトプットの場を保证するための小グループ活動
 - ・個々の考えを全体で共有し、深めるためのタブレット活用
 - 児童に委ね過ぎず、教師による適切な指導・支援など具体的な計画や取組が必要
 - ・授業改善・授業評価の充実
 - ・「言語力・国語力」の育成
 - ・読書活動の推進
- ②学び合う集団を作ろうとする子～学びの可能性を広げる、探求的な仕掛けをつくる～
 - ・各教科、総合的な学習の時間の充実
 - ・「外国語教育」の充実
 - ・一人一台端末の利活用

豊かな心

- ①人の気持ちがわかる子～児童が安心して自分の考えや気持ちを表現できる集団をつくる～
 - ・人権教育の推進
 - ・道徳教育の推進
- ②違いを認め合える子～いろいろな人(学校・家庭・地域)と関わりあえる機会を充実させる～
 - ・個性を認め尊重する環境づくり
 - ・障がい理解教育の推進
 - ・多文化共生、男女共生教育
 - 信頼関係を構築し、相手の話をしっかり聴き、認め合うチームづくり

健やかな体・主体性

- ①自らの心と身体に向き合い大切にできる子～児童が主体的に考え行動できる場をつくる～
 - ・自分で選択できる日常の構築
 - ・気持ちの届く挨拶の励行
 - ・食育指導
 - ・安全教育
 - 他者に向かって相手を意識したプレゼン力の育成／挨拶の意味と価値付けを意識した支援
- ②自ら新たなことを生み出したり、それを発信したりして他者と関わるができる子
 - ・児童会(委員会)、クラブ活動の充実
 - ・総合的な学習の時間の充実

令和7年度 指 標

- 学校に行くのが楽しい90%(前年度84.5%) / □自分にはよいところがある90%(86.6%)
- 授業で発表するときはみんなに考えが伝わるよう工夫している80%(75.5%)
- 授業で課題を解決するために自分で考え、自分から取り組んでいる90%(85.7%)
- 将来の夢や目標をもっている90%(85.3%) / □自分から挨拶ができる95%(88.8%)
- いじめはどんな理由があってもいけないと思う100%(前年度97.5%) / □読書がすき85%(78.6%)